

資本主義再考

～資本主義下でのスポーツの役割～

Reconsider of Capitalism

～Function of Sports in Capitalism～

1K4B106-0 島崎康仁

指導教員 主査 志々田文明先生 副査 宮内孝知先生

本論文の目的

現在、世界には経済の問題、貧困の問題、戦争の問題といった解決すべき重大課題がある。では、どのように解決できるのか。

これらの問題が複雑に絡み合った現代において、それらの問題に個別に対応しては決して解決しないのである。よって、それらの問題の共通する根本的原因を探し出し、その根本的原因を解決する必要がある。私は、その本質的原因を資本主義にあると考える。

なぜなら、資本主義が自己の利益を追求した結果、経済の問題、貧困の問題、戦争の問題といった重大な問題が生まれたのであるからである。

そこで、以下の課題を本論文の研究目標として設定する。

- (1) 現代社会の諸問題は何か (第1章)
- (2) 諸問題の根源的原因とは何か (第2章)
- (3) 目指すべき社会とは何か (第3章)
- (4) 根源的原因を解決する手段とは何か (第4章)
- (5) 結論

第1章 現状の提起されている諸問題及び関連データ

本章は、現在私達の周りにある具体的な諸問題を俯瞰することにより、それらの共通する原因を見極める。

本章で扱う問題は、大きくわけて以下の四つである。資源の問題、日本における経済の問題、世界における諸問題、貧困の問題、戦争の問題の四つである。

第1節では、現在の地球上にある資源の問題、資源の偏在について認識する。第2節は、日本の具体的な人口及び賃金のデータとともにそれらの諸問題について認識する。第3節では、世界の諸問題を認識する。第4節では貧困における飢餓の問題、病気の問題、ストリートチルドレンの問題、児童労働の問題についての理解を深める。第5節では戦争について検討する。

第2章 諸問題の本質的原因

本章では、諸問題の本質的原因を考察していくことにする。第1章で確認された諸問題の根源をもとに、それを作り出して

いる資本主義について考察することで共通する根本的原因を解明する。第1節では、労働賃金について理解を深める。第2節では、資本主義者の精神の問題について考察する。第3節では、資本主義の構造の問題について考察する。

第3章 目指すべき社会

本章においては、目指すべき目標地点の設置を目的とする。人類が目指す目標及び理念、価値観というものとはどのようなものであるのかということ考察する。目指すべき社会の在り方として、真の平等と労働の価値について考察している。最後に、真の平等や労働の価値を包括する思想について論じる。

第4章 手段としての教育

本章では目標地点に到達する手段としての教育を論じる。第1節は、包括的な教育について論じる。第2節では、具体的な教育手段としてのボランティアについて論じる。ボランティアについては、“欲の代替機能”に注目する。第3節は、もう一つの具体的な教育手段としてのスポーツについて論じる。スポーツについては“感情の共有”に注目する。

結論

現在、世界に存在する経済の問題、貧困の問題、戦争の問題の原因は資本にあったのである。資本主義が利己的に利潤を追い求めていった結果、資本の偏在が起きたのである。より多くの資本や資本の偏在による資本をめぐる争いが諸問題を引き起こし、資本を持たざる者を犠牲にしたのである。

つまり、資本主義を押し進める資本主義者の精神が根源的原因である。

そして、目指す社会は真の平等を目指す社会である。理想の社会の実現とその根源的原因を解決する手段として、教育がある。その教育の具体的な方法としてボランティアとスポーツがある。ボランティアとスポーツには“他者の同一視”を実現する“感情の共有”と“欲の代替機能”が備わっているのである。